

<参考資料>

平成24年8月8日

東京電力株式会社

福島第一原子力発電所
1号機オペレーティングフロアの
状況調査結果について



東京電力

甲第
91
時

1. 調査概要

◆目的

1号機原子炉建屋5階オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の状況を把握し、今後の使用済燃料プールからの燃料取り出し等の検討に資することを目的とする。

◆実施内容

カメラを取り付けたバルーンを用いて、以下の調査を実施予定であったが、**バルーンがケーブルと思われる物と干渉したため調査対象であるオペフロまで到達できなかった。**

- ーオペフロ上の屋根ガレキ、天井クレーン、燃料取替機等の状況調査
- ー大物搬入口から機器ハッチ、SFPまでのアクセス性確認
- ーオペフロ機器ハッチ開口部の線量測定

◆現場体制

当社社員：5人

協力企業：14人

◆作業時間

8月8日（水）

13：41～14：15

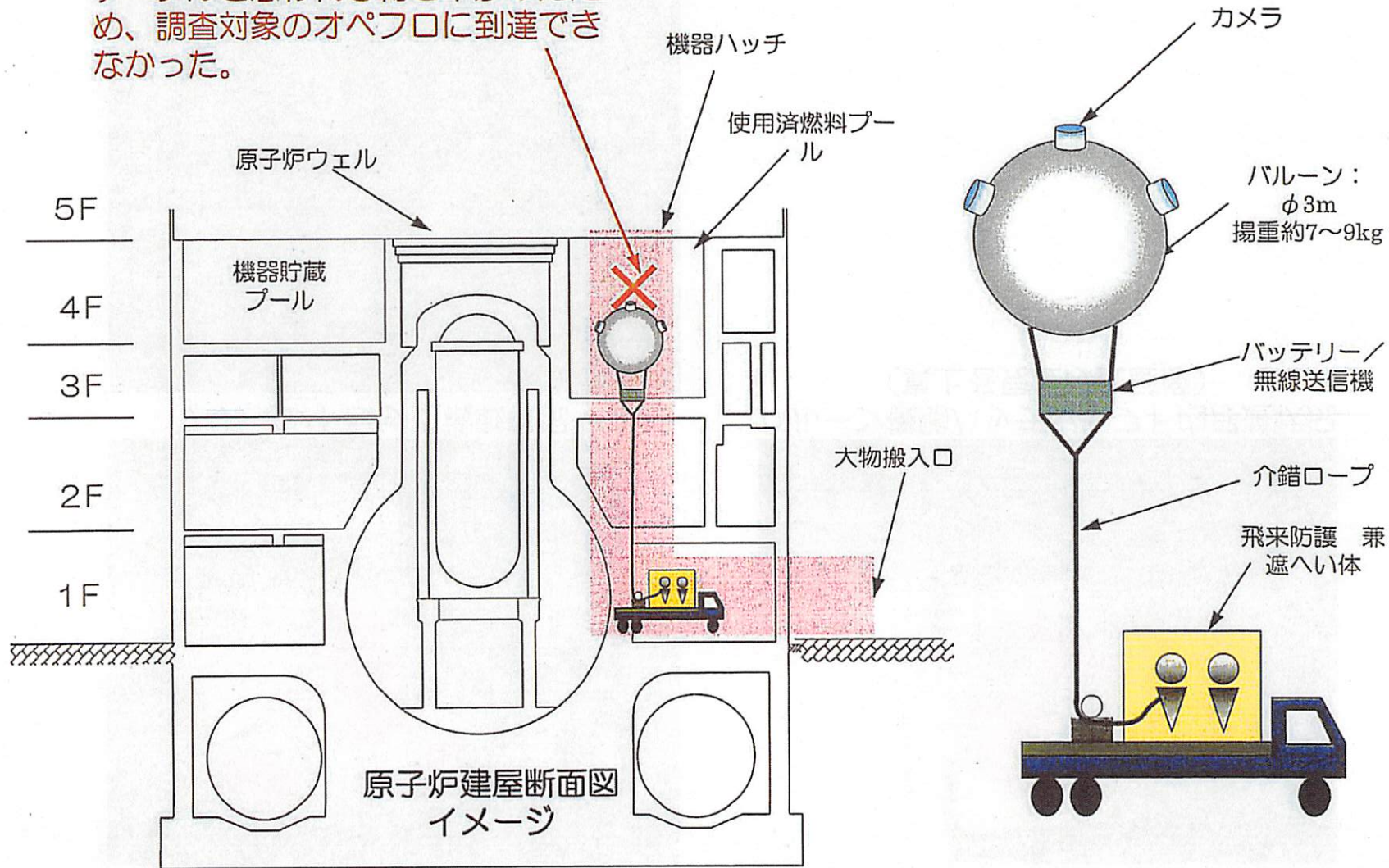
◆最大被ばく線量

1. 54mSv（計画線量 5mSv）



2. 調査イメージ

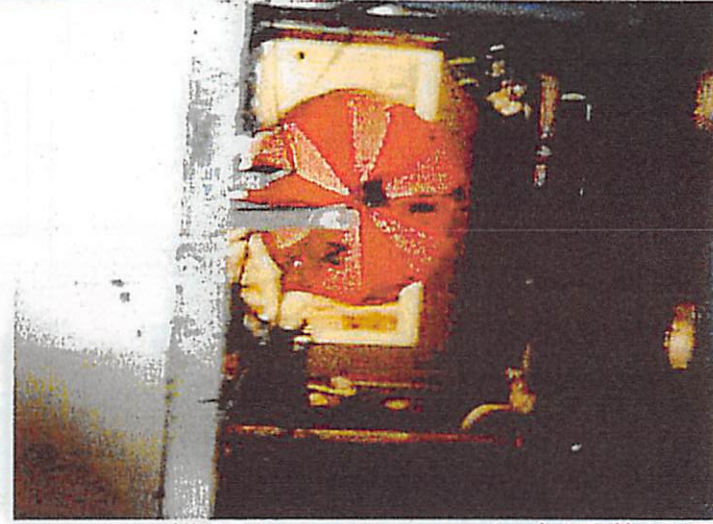
ケーブルと
思われる物と干渉したため、
調査対象のオペフロに到達
できなかった。



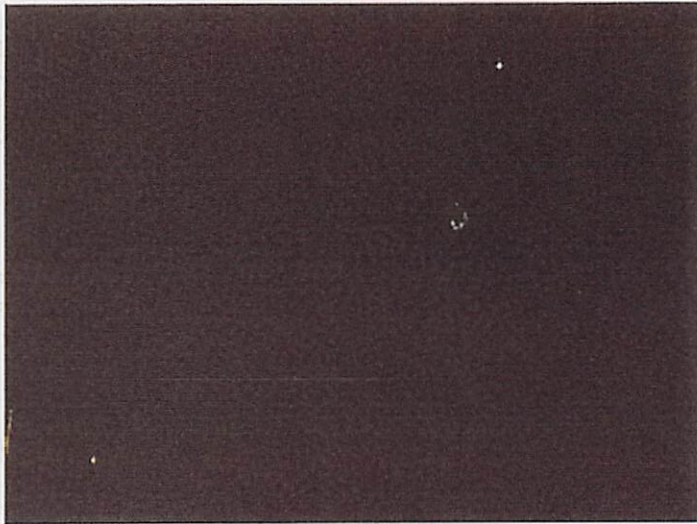
3. 調査状況（バルーン外観）



バルーントラック積載状況

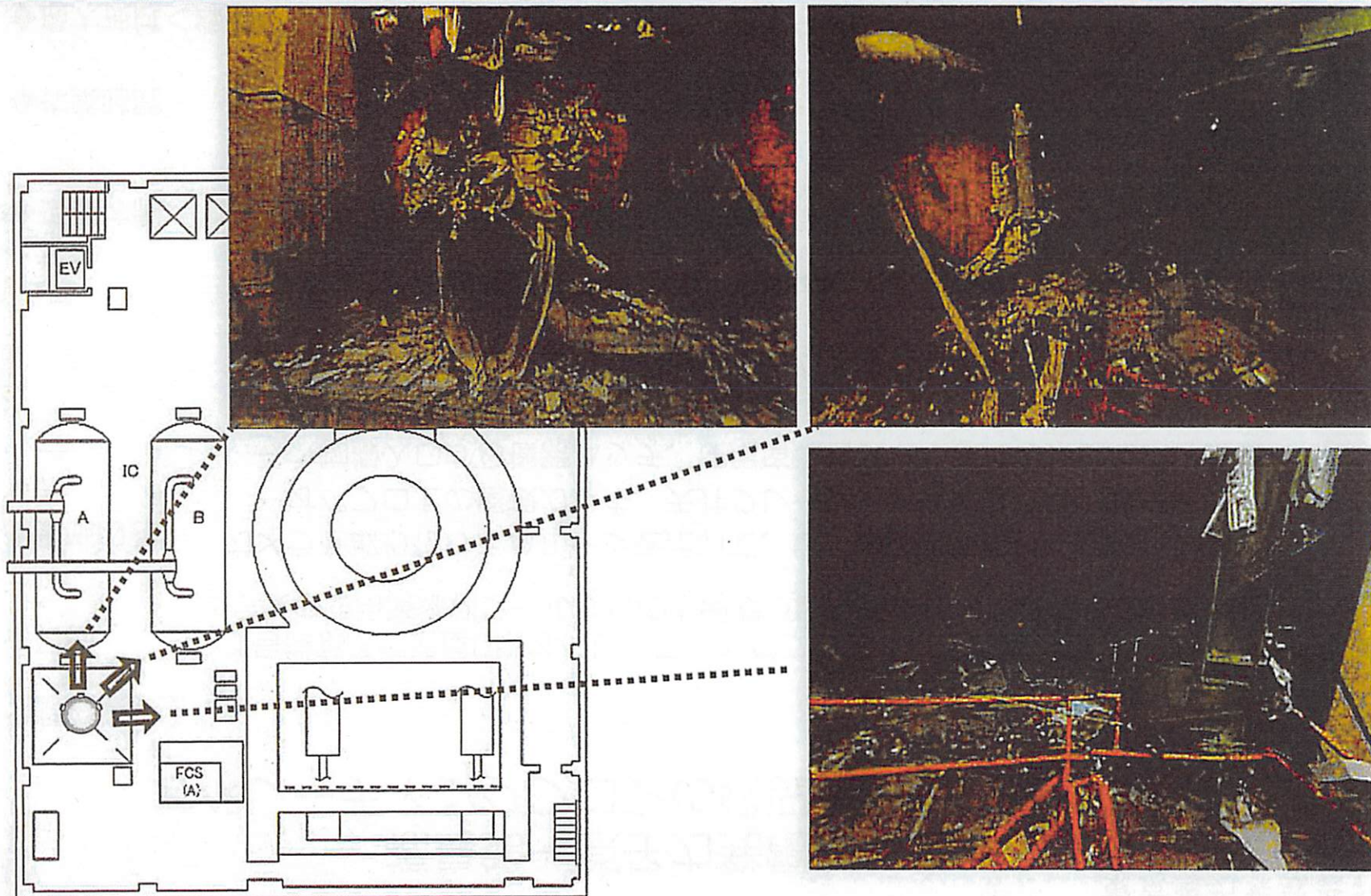


バルーン機器ハッチシャフト内浮遊状況
（真上を見上げた画像）



バルーン外観

4. 調査結果（原子炉建屋4階フロア状況）

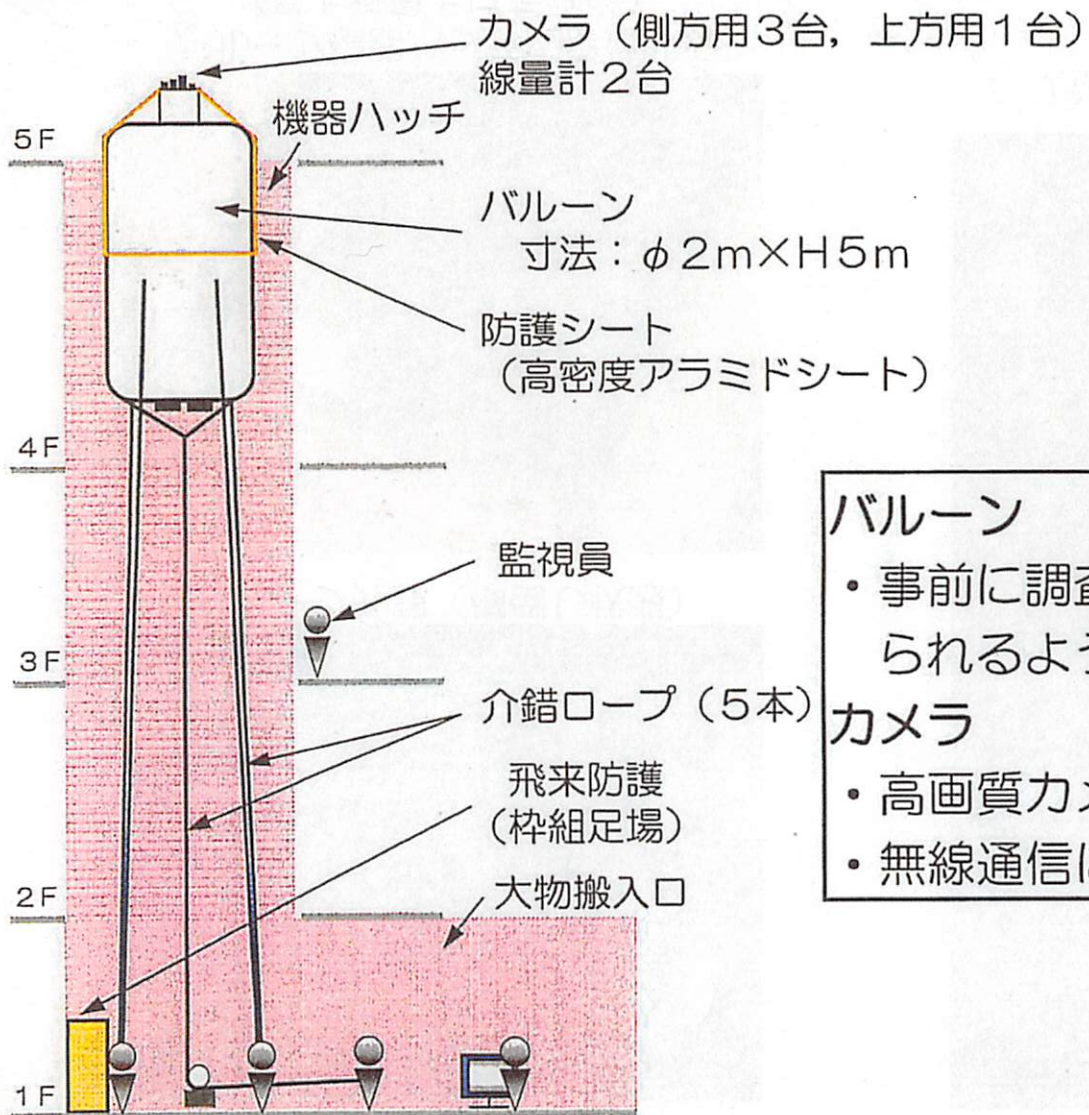


福島第一原子力発電所1号機 オペレーティングフロアの状況再調査結果について

【調査概要】

- ◆目的 1号機原子炉建屋5階オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の状況を把握し、今後の使用済燃料プールからの燃料取り出し等の検討に資することを目的とする。
- ◆実施内容 カメラを取り付けたバルーンを用いて、以下の調査を実施した。
 - －オペフロ上の屋根ガレキ、天井クレーン、燃料取替機等の状況調査
 - －大物搬入口から機器ハッチ、使用済燃料プールまでのアクセス性確認
 - －オペフロ機器ハッチ開口部の線量測定4台あるカメラの内、上方向を撮影するカメラの画像は、取得することができなかった。
バルーンによる調査が成功した為、飛翔体による調査は実施しなかった。
- ◆現場体制 当社社員：4人
協力企業：25人
- ◆作業時間 10月24日（水） 11：07～12：48
- ◆最大被ばく線量 3.81mSv（計画線量 5mSv）

【調査イメージ】



バルーン

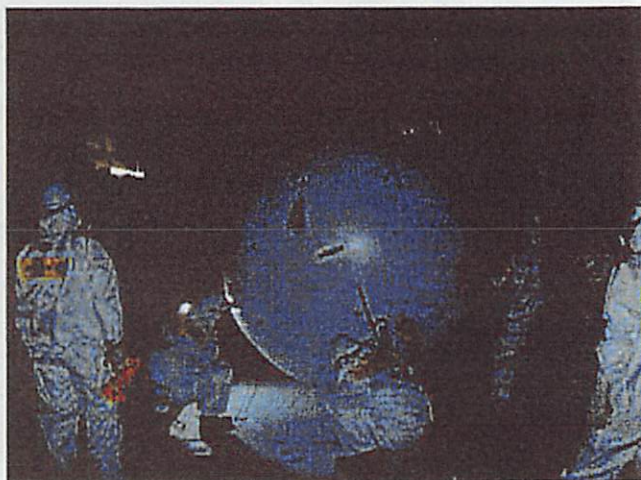
- ・ 事前に調査、確認した障害物を避けられるようサイズ、形状を変更

カメラ

- ・ 高画質カメラを搭載
- ・ 無線通信にて、拡大／縮小操作可能



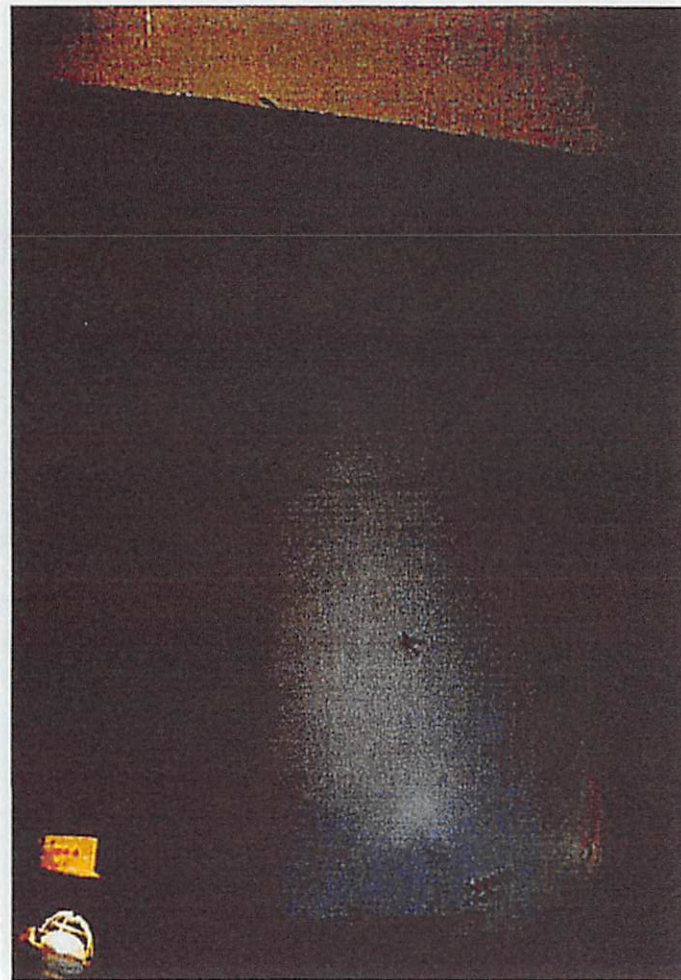
【調査状況（バルーン外観）】



バルーン外観（横倒し状態）



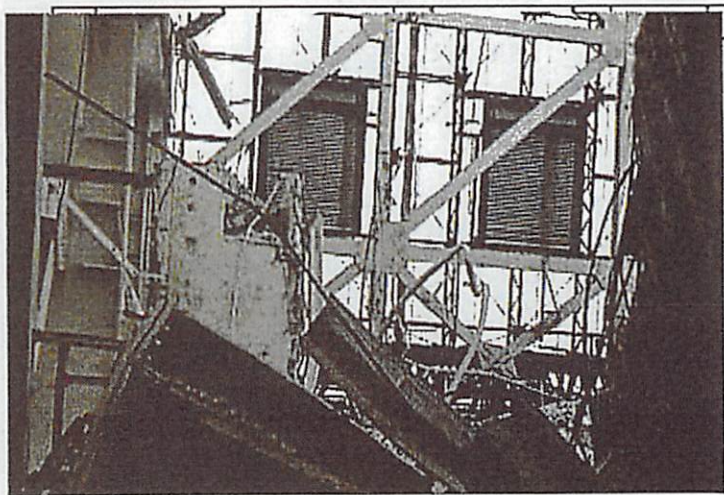
バルーン機器ハッチ内浮遊状況
（真上を見上げた画像）



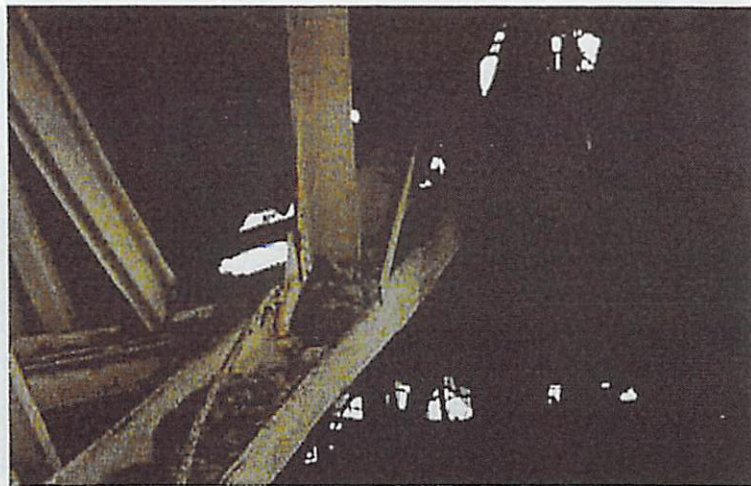
バルーン外観（立起き状態）



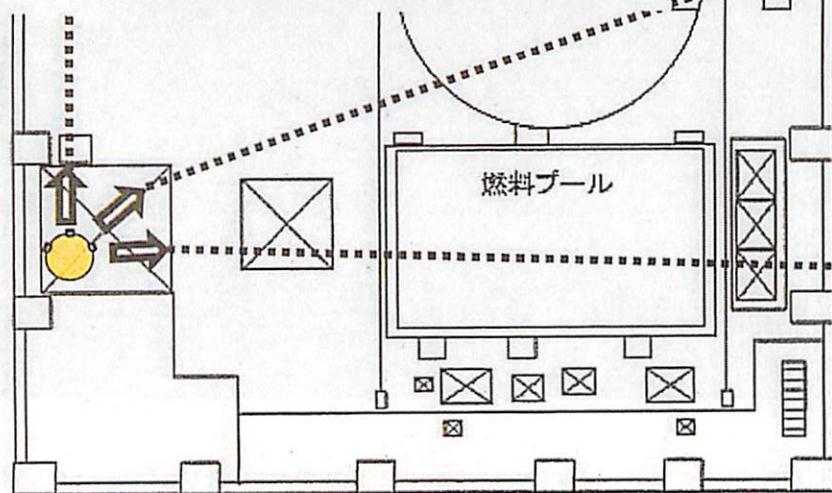
【調査結果（原子炉建屋5階フロア状況①）】



バルーンからみた北方向の写真



バルーンからみた北東方向の写真

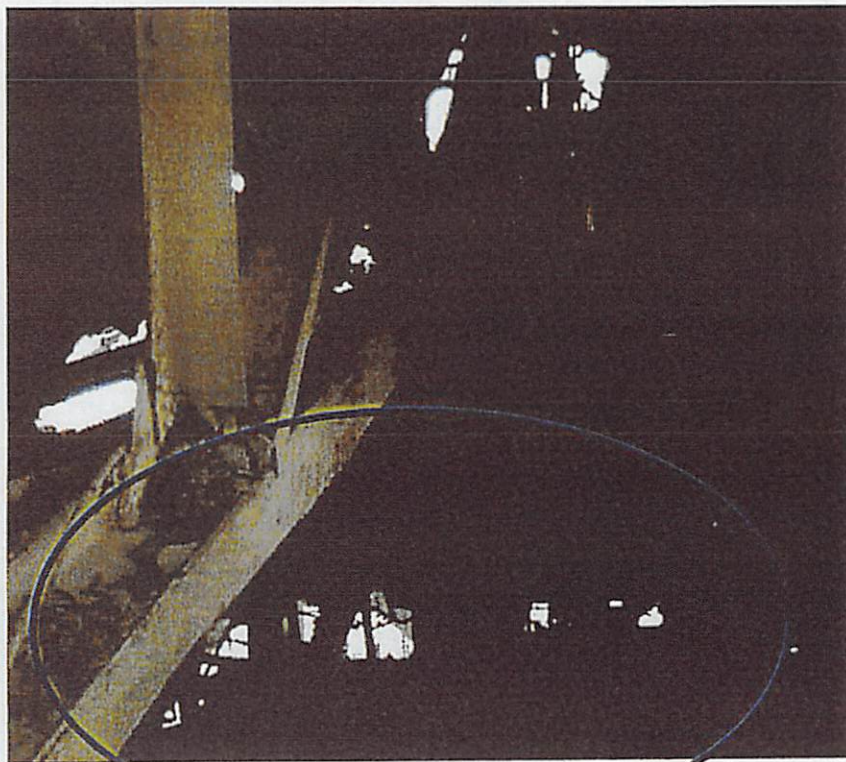


1号機原子炉建屋 5階



バルーンからみた東方向の写真

【調査結果（原子炉建屋5階フロア状況②）】



使用済み燃料プール水面



天井クレーンの一部

【調査結果（各フロアの線量率）】

バルーン最高到達点線量
OP42400
(オペフロ床面から3.5mの地点)

37.1mSv/h

オペレーティングフロア線量
(オペフロ床面から1mの地点)

最高53.6mSv/h

原子炉建屋4階線量

最高20.1mSv/h

原子炉建屋3階線量

最高33.6mSv/h

原子炉建屋2階線量

最高150.5mSv/h

